

登園基準について

厚生労働省の「保育所における感染症対策ガイドライン」に沿った登園基準についてお知らせします。下記の基準を守って登園してください。

(1) 発熱の場合

登園を控えるのが望ましい場合	保育が可能な場合	保護者への連絡が望ましい場合
<p>発熱期間と同日の回復期間が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝から 37.5℃を超えた熱とともに元気がなく機嫌が悪い。 食欲がなく朝食、水分が摂れていない。 24 時間以内に解熱剤を使用している。 <u>24 時間以内に 38℃以上の熱が出ていた。</u> 	<p>前日 38℃を超える熱が出ていない</p> <ul style="list-style-type: none"> 熱が 37.5℃以下で元気があり、機嫌がよく顔色がよい。 食事や水分が摂れている。 発熱を伴う発しんが出ていない。 排尿の回数が減っていない。 咳や鼻水を認めるが、増悪していない。 24 時間以内に解熱剤を使っていない。 24 時間以内に 38℃以上の熱は出ていない。 	<p>38℃以上の発熱がある (園では 37.5 以上で連絡します)</p> <ul style="list-style-type: none"> 元気がなく機嫌が悪い。 咳で眠れず目覚める。 排尿回数がいつもより減っている。 食欲なく水分がとれない。 <p>※熱性けいれんの既往児は医師の指示に従う。</p>

(2) 下痢の場合

登園を控えるのが望ましい場合	保育が可能な場合	保護者への連絡が望ましい場合
<ul style="list-style-type: none"> 24 時間以内に 2 回以上の水様便がある。 食事や水分を摂ると下痢がある。(1 日に 4 回以上の下痢) 下痢に伴い体温が平熱より高め。 朝、排尿がない。 機嫌が悪く元気がない。 顔色が悪くぐったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染のおそれがないと診断されたとき。 24 時間以内に 2 回以上の水様便がない。 食事や水分を摂っても下痢がない。 発熱が伴わない。 排尿がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 食事や水分を摂ると刺激で下痢をする。 腹痛を伴う下痢がある。 水様便が 2 回以上みられる。

(3) 嘔吐の場合

登園を控えるのが望ましい場合	保育が可能な場合	保護者への連絡が望ましい場合
<ul style="list-style-type: none"> 24 時間以内に 2 回以上の嘔吐がある。 嘔吐に伴い、いつもより体温が高めである。 食欲がなく水分もほしがらない。 機嫌が悪く元気がない。 顔色が悪くぐったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染のおそれがないと診断されたとき。 24 時間以内に 2 回以上の嘔吐がない。 発熱がみられない。 水分摂取ができ食欲がある。 機嫌がよく元気である。 顔色が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 咳を伴わない嘔吐がある。 元気がなく機嫌、顔色が悪い。 2 回以上の嘔吐があり水を飲んでも吐く。 吐き気がとまらない。 お腹を痛がる。 下痢を伴う。

病名	感染しやすい期間	登園の目安
インフルエンザ	症状がある期間（発症前24.時間から発症後3日程度までが最も感染力が強い）	発症後5日を経過し、かつ解熱した後3日を経過するまで
百日咳	抗菌薬を使用しない場合、咳の出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失し、全身状態が良好であること（抗菌薬を決められた期間服用する。7日間服用後は医師の指示に従う。）
はしか（麻疹）	発しん出現の前7日間から後7日間くらい	解熱後3日を経過してから
おたふくかぜ （流行性耳下腺炎）	発症3日前から耳下腺腫脹後（耳の後ろから顎にかけての腫れ）	耳下腺の腫れが消失してから
三日はしか（風疹）	発しん出現の前7日間から後7日間くらい	発しん（ぶつぶつ）が消失してから
水ぼうそう（水痘）	発しん出現1~2日前から痂皮（かさぶた）形成まで	すべての発しんがかさぶたになってから
プール熱（咽頭結膜炎） 【原因ウイルス：アデノウイルス】	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え、2日してから
流行性角結膜炎 【原因ウイルス：アデノウイルス】	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いため、結膜炎の症状が消失してから
結核		感染のおそれがなくなってから
腸管出血性大腸菌感染症 （O157、O26、O111）		症状が始まり、かつ抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によって、いずれも菌がないと確認されたもの



































病名	主な症状	登園基準
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24～48時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳がおさまっていること
手足口病	手足や口腔内に水疱（みずぶくれ）・潰瘍（ただれ）が発症した数日間	発熱や口腔内の影響がなく、普段の食事がとれること
リンゴ病（伝染性紅斑）	発しん（ぶつぶつ）出現前の1週間	全身状態がよいこと
ウイルス性胃腸炎 【原因ウイルス：ノロ、ロタ、アデノウイルスなど】	症状のある間と症状消失後1週間（数週間ウイルスが便の中に含まれているので注意が必要）	嘔吐、下痢等の症状がおさまり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	発熱等症状が出てから数日間（便の中に1カ月程度ウイルスを排泄しているため注意が必要）	発熱や口腔内の水疱（水ぶくれ）・潰瘍（ただれ）の影響がなく、普段の食事がとれること
RSウイルス感染	呼吸器症状（ヒューヒューという呼吸音、咳、痰）	呼吸器症状が消失し、全身状態がよいこと
帯状疱疹	水疱（水ぶくれ）を形成している間	すべての発しんが痂皮化（かさぶた）してから
とびひ （伝染性膿痂疹皮膚化膿症）	水疱（水ぶくれ）、びらん（ただれ）から膿が出ている間	・水疱（みずぶくれ）・びらん（ただれ）面をガーゼ等で保護できること ・水疱（水ぶくれ）・びらん（ただれ）面が乾燥し、膿などが出ていないこと
突発性発しん		解熱し、機嫌がよく、体調がよいこと



(インフルエンザに罹患した場合)

インフルエンザの出席停止期間早見表

例	発症日	発症後5日間（登園停止期間）					発症後5日を経過			
	0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	
発症後 1日目に 解熱した 場合			解熱 	1日目 	2日目 	3日目 		登園 OK 		
発症後 2日目に 解熱した 場合			解熱 	1日目 	2日目 	3日目 		登園 OK 		
発症後 3日目に 解熱した 場合				解熱 	1日目 	2日目 	3日目 	登園 OK 		
発症後 4日目に 解熱した 場合					解熱 	1日目 	2日目 	3日目 	登園 OK 